

# 生涯教育研修活動報告書

輸血検査研究班

- 1 実施日時：2023年9月27日 18時30分～19時30分
- 2 会場：Web開催 教科・点数：専門教科－20点
- 3 主題：輸血実技研修会参加者必須講座  
～輸血検査の手技、判定方法、注意点など～  
講演1：血液型検査  
講演2：不規則抗体検査
- 4 講師：講演1：比嘉 絢子  
(地域独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立がんセンター)  
講演2：小原 佑太 (医療法人社団東光会 戸田中央総合病院)
- 5 協賛：なし
- 6 参加人数：会員 154名 賛助会員 0名 非会員 0名
- 7 出席した研究班班員：久保居由紀子 宮澤翔子 小原佑太 比嘉絢子 廣田涉  
川内沙織

## 8 研修内容の概要・感想など

今回の研修会は、先に開催される輸血実技研修会の事前講習会として開催した。

実習項目である血液型検査と不規則抗体検査について、主に手技のポイントの解説であった。

比嘉氏の講演では、始めにABOとRhD血液型検査の意義について、その後試験管法で血液型検査を実施する際に使用する器具の使い方や試薬の分注の仕方、血球浮遊液の作成法、凝集の見方などについて細かな説明があった。輸血業務初心者の受講者は、用手法の基本的な正しい操作方法およびミス減らすためのポイントを学ぶことができた。一方で、輸血業務に慣れている受講者は、自己流になりがちな操作手技を見直すきっかけになったと思われる。

小原氏の講演では、不規則抗体と臨床的意義の説明から始まり、スクリーニングが陽性の場合の検査の進め方、さらに抗体同定の要となる可能性の高い抗体および否定できない抗体を絞り込む『消去法』について詳細説明があった。

実技研修会参加者は、実技研修会で今回の内容を実践することによって手技等の確認をし、

正しい技術を習得することによって、患者に安全な輸血医療を提供できることに期待したい。

提出日：2023年10月9日

文責：久保居由紀子